

Le Meurice

Paris

Dorchester Collection

## プレスリリース

2019年12月

# 世界の王侯貴族と芸術家に愛されてきたパリの ホテル、ル・ムーリスからインスピレーション を得た音楽朗読劇「女王がいた客室」シアター クリエで再演

世界に9つのラグジュアリーホテルを所有するドーチェスターコレクションのパリのホテル、ル・ムーリスは、時代を超えて、世界の王侯貴族と芸術家に愛されてきました。2020年の2月27日から3月6日に日比谷シアタークリエで再演される「女王がいた客室」は、まさにル・ムーリスがインスピレーションの元となった、人気劇作家藤沢文翁が原作・脚本・演出を手がける音楽朗読劇です。「VOICARION (ヴォイサリオン)」と冠したこのプレミアム音楽朗読劇は、演劇界・声優界の人気実力派キャストが参加する極上の舞台です。このようにル・ムーリスは、時代を超え、国を超え、多くの貴族たちの休息の場、芸術家たちのインスピレーションの場となってきました。

本当だよ・・・

このホテルの従業員は皆、ロマノフ王朝の生き残りなんだ

嘘じゃないよ！

パリへ亡命してきた貴族達なんだ・・・

ポーターは伯爵家執事

フロントクラークは男爵

包丁を磨いているシェフは近衛連隊長なのさ

嘘だと思うなら、コンシェルジュにぶつかってみなよ

きっと馬鹿に礼儀正しくお辞儀をするはずさ・・・

20世紀初頭のパリを舞台に、

ロマノフ王朝最後の生き残りとなった貴族たちが織り成すヒューマンドラマ。

それは、アナタがきっと宿泊したくなるホテル。

『女王がいた客室』より

# Le Meurice Paris

Dorchester Collection

この度、東京日比谷のシアタークリエで上演される『女王がいた客室』は、人気劇作家の藤沢文翁がル・ムーリスで作品の着想を得てホテルの客室で執筆しました。舞台設定は 20 世紀初頭のパリ、架空のホテル・バッサーノですが、パリの歴史と共に歩んできたル・ムーリスは、劇中のロマノフ王朝の女王を迎えるホテルに相応しい壮麗さと気品を感じさせます。

『パリは僕が青春を過ごした場所であり、いつ訪れても変わらないその歴史ある町並みには、僕の様々な思い出が焼き付いています。それは僕だけではなく、パリという街が、あるいはこのル・ムーリスが、様々な人々の思い出を優しく包み込む空間のように感じられます。変わりゆく世界で、変わらない場所があるということが、どれほどの安らぎを人々に与えることでしょうか。新作を書くため、このル・ムーリスという変わらない空間を訪れた時、幼い頃、廊下を走って怒られる自分の面影に出会いました。たった一瞬ですが、あの頃の悪戯な自分の心が蘇りました。老舗のホテルとは、本来そういうものなのかもしれません。宿泊する夜、今の自分とも向き合えますが、過去の自分とも対面できるのです。そんな時、思いついたのがこの物語です。ロシアの亡命貴族がたった一晚だけ、貴族に戻れるという、この物語を・・・。』

劇作家の藤沢文翁より



王侯貴族や芸術家を迎えてきたプレジデンシャル・スイート

# Le Meurice Paris

Dorchester Collection

ホテル ル・ムーリスは、パリ中心部、チュイルリー公園前に位置する、1835年創業の老舗ホテルです。パリの五つ星以上のホテルに与えられる「パラスホテル」の称号を保持する現代の宮殿ホテルです。始まりは、ノルマンディーの港町カレー。ここで旅宿を営んでいたシャルル＝オーギュスタン・ムーリスは、ドーバー海峡を渡り、立ち寄る英国の紳士淑女達が「どんな要望にも応えてくれる最高級ホテルがパリに無い」と嘆く声を耳にします。それならば、ロンドン以上に洗練されたホテルを！という想いを抱き、パリにホテルを開業します。英語が流暢なバトラーに、両替のシステム、全室にバスタブを完備、コンシェルジュやルームサービスを開始し、伝統美を誇る内装に値する上質なサービスを提供し始めます。

2世紀に渡り、ヴィクトリア女王からナポレオン3世、モンテネグロの国王、プリンス・オブ・ウェールズ、イギリス国王ジョージ6世、ザンジバルのスルタン、ジャイプールのマハラジャ、ロシアの大公妃が常連となります。20世紀には、まるでパリの小さなヴェルサイユ宮殿、ホテル・デ・ロワ (Hotel des Rois) = 「王侯貴族のホテル」と讃えられます。今でもホテルの紋章には王冠が誇らし気に輝いています。



ロシア革命でロマノフ王朝が滅亡した1917年後、ロシアから多くの亡命者を受け入れたパリは、「狂騒の20年時代」に突入します。第一次世界大戦の痛みを忘れ、平和を謳歌しようと、パリ文化は華やぎます。新聞広告には、上流階級の顧客達がパリの魅惑的な夜景を臨むル・ムーリスの屋上テラスで、ディナーやダンスを楽しんでいる様子が描かれています。ソーシャライツや芸術家、実業家や詩人が集う社交場としてカフェ・ソサエティが流行り、亡命ロシア貴族によるファッションブランドも設立されます。ディアギレフ率いるバレエ・リュスと呼ばれるロシアバレエ団は、エキゾチックな衣装と高い芸術性でパリジャンを魅了し、ピカソやサティ、コクトーと交流します。ロシア人は、それまでのパリには存在しなかった感性で、才能を開花させ、狂騒の時代を彩ります。ル・ムーリスもまた、晩餐会や舞踏会を開催し、演奏会や読書サロンなど芸術交流の場として、パトロンとアーティストを繋ぐ文化的な役割を担います。

The Dorchester, London | 45 Park Lane, London | Coworth Park, Ascot | Le Meurice, Paris | Hôtel Plaza Athénée, Paris  
Hotel Principe di Savoia, Milan | Hotel Eden, Rome | The Beverly Hills Hotel, Beverly Hills | Hotel Bel Air, Los Angeles | Dubai (opening 2020)

dorchestercollection.com

Facebook: Le Meurice Twitter: @LeMeurice Instagram: @lemeuriceparis #DCmoments



# Le Meurice Paris

Dorchester Collection

ル・ムーリスにはロシア人ゲストの様々なエピソードが残されています。19世紀末、リサイタルのためにパリを訪れたチャイコフスキーはピアノソナタ二番とジャンヌ・ダルクを描いたオペラ「オルレアンの少女」をホテルの一室で書き上げます。また、トルストイが滞在し、ピカソが妻オルガと結婚披露宴を開催したのも、このホテルです。ロマノフ王朝時代の芸術家が残した余韻や息づきを感じられるこの空間こそが、『女王がいた客室』のインスピレーションの元となったのです。



ピカソが結婚披露宴を開催したサロン・ボンパドール

そもそもホテルとは、世界中の人が交錯する劇場的空間。様々な想いを抱えて訪れる顧客達と、彼らの心の糸を手繰り寄せようとするホテルマンたちの非日常な日常を、藤沢文翁は想像をめぐらせ、考察したのです。豪華絢爛な内装や、チュイルリー公園の回転木馬、黄金の宝石箱のような夜景、、、『女王がいた客室』には、愛され続けているパリの景色と空気が詰まっています。時代の変化に動じることなく、パリ文化を今も体現し続けている「世界の王侯貴族と芸術家に愛されるホテル」に、いつか宿泊してみてください。狂騒の時代の香りとロマノフ貴族の高貴さと憂い、パリ独特のノスタルジーに、記憶の欠片を優しく包む人の暖かさに触れることができるでしょう。時代を超えて滞在した多くの顧客達のように、ここは、必ずもう一度訪れたくなる「願いが叶うホテル」なのです。

The Dorchester, London | 45 Park Lane, London | Coworth Park, Ascot | Le Meurice, Paris | Hôtel Plaza Athénée, Paris  
Hotel Principe di Savoia, Milan | Hotel Eden, Rome | The Beverly Hills Hotel, Beverly Hills | Hotel Bel Air, Los Angeles | Dubai (opening 2020)

[dorchestercollection.com](http://dorchestercollection.com)

Facebook: Le Meurice Twitter: @LeMeurice Instagram: @lemeuriceparis #DCmoments

Le Meurice

Paris

Dorchester Collection

## VOICARION とは

物語が絶妙に絡み合ったオリジナル音楽朗読劇創作の第一人者である藤沢文翁が原作・脚本・演出を手掛け、東宝株式会社とタッグを組んで贈る、「超豪華キャスト×生演奏による美しい音楽×上質な演出」三拍子を揃えた音楽朗読劇シリーズです。一ムとなる劇場は、演劇の中心地日比谷に位置する旧芸術座、シアタークリエ必ずもう一度観たくなるをコンセプトに、他に追従を許さない、この上なく贅沢な音楽朗読劇を届けます。

## VOICARION の由来

VOICE とギリシャ神話に登場する天馬 ARION（アレイオーン）を組み合わせた造語。声によって聴く者の想像力の翼がどこまでも高く羽ばたいていくように、との願いが込められています。また、1の上にデザインされた王冠は「声の王様・女王様」を意味しています。

## 藤沢文翁

劇作家・舞台演出家・クリエイティブディレクター

東京都六本木生まれ。英国朗読劇を独自に改良した「藤沢朗読劇」と呼ばれる音楽朗読劇を中心に活動を続けています。高校卒業後、パリで2年間を過ごした後、渡英。ロンドン大学ゴールドスミススの演劇学部に入學し、戯曲脚本・演出術を学び、学位 Bachelor of Arts Drama and Theatre Arts を授与されます。英国ロンドンの Kings Head 劇場で HYPNAGOGIA を上演し劇作家デビュー。バイリンガルであり、国内外で活動し続けるアーティストです。また彼の生み出してきた戯曲は、ゲーム化やコミカライズ、アニメ化など様々な展開を見せています。自身が育った西洋の芸術文化のみならず、日本の古典芸能も精通しており、昨今では能楽五流派の一つ、喜多流（公益財団法人 十四世六平太記念財団）の理事に就任しています。

## プレミア音楽朗読劇「VOICARION『女王がいた客室』」

2020年2月27日から3月6日

東京都 日比谷シアタークリエ

原作・脚本・演出：藤沢文翁

「女王がいた客室」

作曲・音楽監督：小杉紗代

出演：竹下景子 ほか

## VOICARION公式サイト

# Le Meurice Paris

Dorchester Collection

高画質画像ダウンロードリンク : <https://we.tl/t-yniCt3gQlf>

## プレスコンタクト

### フランス

ル・ムーリス

大岡陽子

コミュニケーションマネージャー

Email : [yoko.ooka@dorchestercollection.com](mailto:yoko.ooka@dorchestercollection.com)

Tel : +33 (0)1 44 58 10 12

### 日本

ドーチェスター・コレクション日本地区G S A

ケントス・ネットワーク

E-mail : [info@kentosnetwork.co.jp](mailto:info@kentosnetwork.co.jp)

Tel : 03-3403-5328

### ル・ムーリス

ホテル ル・ムーリスは1835年より、歴史的なパリ1区に位置するパラスホテルです。ル・ムーリスはフランス流エレガンスを体現しており、最高級のサービスを提供しています。多くの芸術家たちが通ったホテルとして、今も尚芸術や文化の発信地となっています。ル・ムーリスは18世紀のフランス伝統的な装飾とコンテンポラリーが共存する空間です。ラグジュアリーホテルという域を超え、アートギャラリーであり、ホテルそのもの自体が絶え間なく進化する芸術作品といえます。

### ドーチェスター・コレクション

ドーチェスター・コレクションは、欧米にラグジュアリー・ホテルを所有または運営をしています。その国や都市を代表するランドマーク的存在のホテルをコレクションに加え、洗練された本物のホテルをコンセプトに、その土地の特徴や文化を巧みに取り入れ、それぞれのホテルの歴史と伝統を生かし、卓越したおもてなしとかけがえのない体験を提供しています。長年に渡り世界有数のホテルを運営してきた経験により、ドーチェスター・コレクションが目指す、他に類を見ないアイコン的なホテルを所有または運営するホテルグループの形成を実現しています。現在のポートフォリオは下記の通りです：ザ・ドーチェスター、ロンドン；ビバリーヒルズ・ホテル、ビバリーヒルズ；ル・ムーリス、パリ；ホテル・プラザ・アテネ、パリ；ホテル・プリンチペ・ディ・サヴォイア、ミラノ；ホテル・ベルエア、ロサンゼルス；カワース・パーク、イギリス・アスコット；45パークレーン、ロンドン；ホテル・エデン、ローマ；ドバイ（2020年オープン予定）

ドーチェスター・コレクションの詳細は、[dorchestercollection.com](http://dorchestercollection.com)でご覧ください。